

人を対象とする医学系研究に関する情報公開

福島県立医科大学耳鼻咽喉科学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の人を対象とする医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2019年10月 福島県立医科大学医学部耳鼻咽喉科学講座 室野重之

【研究課題名】嚥下障害患者における嚥下評価と治療に関する研究

【研究期間】2019年10月～2029年3月31日

【研究の意義・目的】

嚥下障害は加齢、脳血管障害、神経筋疾患など様々な疾患が原因となり、患者一人一人で病態が異なります。また、高齢者のみではなく小児の嚥下障害を診察する機会も増えてきています。小児は成人と異なる病態を呈することが多く、評価には専門的な知識や技術を要します。そのためさまざまな方法で嚥下機能を評価して病態を正確に把握し、適切な治療を選択することが必要です。主な嚥下機能検査として嚥下内視鏡検査、嚥下造影検査があります。その他の簡易スクリーニング検査として反復唾液飲みテスト、水飲みテスト等の簡易検査がありますが、これらでは十分に評価ができないと報告されています。また、嚥下障害を評価する問診票もいくつかありますが、病態を十分に反映できず障害の程度の評価は困難です。本研究では嚥下内視鏡検査、嚥下造影検査、問診票、CTなどの日常診療で行っている嚥下機能検査で詳細な観察を行い、診断能の比較や妥当性を評価し、新たな観点での評価を検討することを目的とします。

【研究の対象となる方】

研究期間内に本学附属病院耳鼻咽喉科または公立岩瀬病院（2019年4月～2022年12月まで受診した方）、東京科学大学摂食嚥下リハビリテーション科を受診した患者さんを対象とします。嚥下障害は患者一人一人で病態が異なることが多く、様々な疾患の患者さんを対象とする必要があります。

【研究の方法】

嚥下内視鏡検査、嚥下造影検査、問診票、嚥下CT等で嚥下機能検査を行って嚥下機能を評価します。必要があれば嚥下障害に対する治療を行い、治療後に再度嚥下機能検査を行います。これらの検査は日常診療でも行っています。検査結果を集積し、解析します。更に、東京科学大学と共同でAI（人工知能）を用いた適切な診療方法を検討します。

【研究組織】

・研究責任者

耳鼻咽喉科学講座 教授 室野 重之

・研究分担者

耳鼻咽喉科学講座	准教授	今泉 光雅
耳鼻咽喉科学講座	講師	池田 雅一
耳鼻咽喉科学講座	助手	橋本 千織
耳鼻咽喉科学講座	病院助手	久保田 叡

・共同研究機関

研究責任者 東京科学大学 教授 朱 欣
研究分担者 東京科学大学 教授 戸原 玄

【他の機関等への試料等の提供について】

東京科学大学に嚥下内視鏡検査結果などの情報を匿名化して提供します。提供は記録媒体の郵送やメール等で行います。

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1
公立大学法人福島県立医科大学医学部耳鼻咽喉科学講座
担当 今泉光雅、池田雅一
電話：024-547-1321 FAX：024-548-3011
E-mail：jibika@fmu.ac.jp

【試料・情報の利用を望まれない場合の問い合わせ先】

試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医療系雑誌への掲載や学会発表なされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1
公立大学法人福島県立医科大学医学部耳鼻咽喉科学講座
担当 今泉光雅、池田雅一
電話：024-547-1321 FAX：024-548-3011
E-mail：jibika@fmu.ac.jp